

- 議長（河野） 10 番、西村宣之君。
- 10 番（西村） 議長。
- 議長（河野） 西村君。
- 10 番（西村） 通告に従い質問をさせていただきます。

「防災訓練の今後の計画は」。

去る 11 月 23 日に 9 年ぶりに町内代表者、町消防団、町赤十字奉仕団、高松西警察署、また陸上自衛隊等も含め、約 500 名の参加者による防災訓練が開催されました。

自治会をはじめとする町内の各団体の代表者の参加により早朝から始まりました。町民の参加者による災害時の体験訓練では、がれきの中からの被災者救出体験、初期消火の体験、救命救急の体験等、地域内では体験できない規模の訓練でした。町民による自助、共助の体験は好評であったようです。私の周りにおいても「良い経験であり今後の参考になった」「防災に対する認識を再確認できた」などの意見を現地にて聞くことができました。町長により提唱されている「災害時には自助、共助が必要である」を町内全域に展開することが、重要であります。近年行われている地域の訓練において行われている避難所開設訓練・災害想定地域の確認なども大切な訓練であるが、今回の訓練では、ドローンによる物資空輸、地震体験車、防災グッズの紹介、炊き出し訓練も体験でき、充実した訓練でした。

今回のような訓練の重要性を含め、災害時での防災対策は多様な訓練が必要であることを再認識しました。

今後、いつ発災するともわからない東南海地震などだけではなく近年の異常気象による豪雨災害を含めた災害対策を町内全域に展開することを目的に、防災訓練の時期、規模を考慮し年間に数回開催することで、より多くの町民に今回のような体験が経験できるのではないのでしょうか。

今後の防災訓練はどのような計画で進めるのでしょうか。質問いたします。

- 議長（河野） 前田町長。
- 町長（前田） はい、議長。
- 議長（河野） 町長。
- 町長（前田） はい、議長。
- 町長（前田） ご質問にお答えをいたします。

来年度の防災訓練につきましては、今年度同様、自治体・関係機関・町民が一体となって行う「総合防災訓練」、これを予定をしております。

内容につきましては、今回の訓練テーマでありました「明日に備える共助の力～備えとつながり～」を踏襲し、町民一人ひとりに災害に備える意識を高めていただき、いざというときは自らの安全は自らで守る「自助」、そして隣人や地域の人と協力して支えあう「共助」の力を育む訓練内容を考案してまいりたいとそのように思っております。

具体的には綾川町総合運動公園を訓練会場として多目的グラウンドのみならず、アリーナも使用し、災害予防対策、災害応急対策である発災直後からとるべき行動・避難

所開設・運営までの一連の流れの訓練を今のところ想定しております。町・関係機関・町民が一体となった訓練を行うことで、町及び関係機関の災害発生時の初動対応も住民の方に知っていただき、その時に自助として自らの生命・財産また、共助として隣人の生命・財産を守るためにはどのような行動をとる必要があるのか、理解及び体験してもらおう訓練を考えております。

また、総合防災訓練だけではなく、自主防災組織単位での防災訓練開催の際には、計画段階から町職員を派遣し、訓練支援を行うことにより、より多くの町民に災害に備える意識を高める機会を提供できるよう努めてまいりたいとそのように考えております。

以上、答弁といたします。

○議長（河野）再質問はございませんか。

○10番（西村）はい、議長。

○議長（河野）西村君。

○10番（西村）ありがとうございました。

年々防災訓練も町民の意識の中で確立されていくかと思えます。ただし近年では、ついこの間も大きな地震があり、また各地で山火事等の災害が発生しております。綾川町においても、いつそういう災害が起こるかもわかりません。その意識を町民の中で浸透させることが肝要かと思えます。そこで来年の総合防災訓練等も必要かと思えますが、各地域での自主防災組織の活動の援助等も含めた、数回に及ぶ訓練っていうのは必要ではないでしょうか。その辺の認識を確認できればと思います。

○議長（河野）福家総務課長。

○総務課長（福家）はい、議長。

○議長（河野）はい、福家君。

○総務課長（福家）はい、議長。

○総務課長（福家）西村議員の再質問にお答えします。

まず1つは、町民に防災訓練が浸透するよというところと、自主防災組織の強化というよなところかと思っております。議員ご指摘のとおり、防災につきましては、私ども夏にですね、管理職等を含めて防災士の資格も取りました。そういったところのイメージといいますか、マネジメント能力とかも上がっておりますので、こういったところを生かしながら町民の中に浸透できるよというところを進めていきたいなと思っております。具体的にはですね、いつ起こるかかわからない地震に対して備えるよということで、地震は必ずやってくるよという認識のもと、減災対策に力を入れることを住民の方に周知したいと思っております。今後ですね、これから広報等の特集などで住民の自主防災の取組についても特集を組もうよという計画でおりますので、そういったところを通して、住民に対して十分浸透させていきたいなと考えております。

それから2点目の自主防災組織の強化のところにつきましては、今自主防災組織が130あまりあります。そういったところについてもですね、通り一遍の教育ではなくて、本当に地震が起こったときにどういうふうに対応できるかよというところを十分に自主

防災組織に浸透させ、組織の強化、連合的などところも今後検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（河野） 再々質問はございませんか。

○10番（西村） はい。

○議長（河野） 西村君。

○10番（西村） ありがとうございます。

防災士として町の職員の方が防災士としての確立をされていっておるということも聞いております。確かに防災士も大事なんですけれども、町民全体にそれが浸透できることを、何て言うんですかね、展開できることを町が主体になってお進めいただきたいということを要望として終わりにします。ありがとうございました。

○議長（河野） 以上で、西村君の一般質問を終わります。